

このご案内は、ビヨンドトゥモローが給付する25年度**1年間**の奨学金および人材育成プログラムのご案内です。

対象者は、現高校3年、高専等も3年生を含みます。

応募開始日は2024年9月2日（月）、  
応募締切日は2024年10月17日（木）です。



2024年6月吉日

## ビヨンドトゥモロー ジャパン未来スカラシップ・プログラム 2025 奨学金（返済不要・給付型）のご案内【2025年度進学者対象】

一般財団法人教育支援グローバル基金

一般財団法人教育支援グローバル基金は、人材育成事業「ビヨンドトゥモロー」の一環として、返済不要・給付型の奨学金事業「ビヨンドトゥモロージャパン未来スカラシップ・プログラム 2025」の募集を行います。本プログラムは、2025年度に大学・短大・各種専修学校への進学を志す方々を対象に、給付型・返済不要の奨学金（年額50万円）を支給するものです。また、プログラムを通して、国内・海外での研修機会があり、日本全国から集う仲間と共に研鑽を積み、社会に力を添えるリーダーとなる過程を応援していきます。

応募条件を満たす方は是非ご応募ください。大学進学はもちろんのこと、短大や専門学校進学にも対応していますので、ぜひ様々な進路を志す方々にご応募いただきたく思っています。

応募に際しては、下記の条件の一つ以上に該当する方が対象となります。

- 親が死亡している。
- ひとり親家庭である（父子家庭、母子家庭など）。
- 児童養護施設をはじめとした社会的養護を必要とする施設に暮らしている。
- 里親家庭に暮らしている。
- 生活保護受給世帯に暮らしている。

これまでにビヨンドトゥモローのプログラムに応募いただき、その際は残念ながら参加が叶わなかった方にも、ぜひ再度奮って挑戦いただければと思います。これまでにも、不合格になりながらも何度も応募し、合格したという事例が数多くあります。

多くの意欲あるご応募をお待ちしております。

### 記

- ご案内チラシ
- 応募要項
- 応募用紙（郵送提出用）
- 学校長推薦状様式

※応募書類は、複製してご使用いただけます。また、当財団ウェブサイトからもダウンロードいただくことができます（<https://beyond-tomorrow.org/>）。

以上



## 返済不要・給付型奨学金のご案内

### ビヨンドトゥモロー ジャパン未来スカラシップ・プログラム 2025【応募要項】

一般財団法人教育支援グローバル基金は、社会のために活躍する人材になるべく進学を目指す若者を応援する「ジャパン未来スカラシップ・プログラム 2025」への応募を募ります。様々な事情で社会的に困難な状況にある若者を対象とし、経済的な支援だけでなく、人材育成プログラムへの参加機会の提供を通じて、他者に共感する力をはぐくみ、社会貢献に尽力する人材を輩出することを目的としています。仲間との対話や、各界で活躍するリーダーたちとの交流を通じ、視野を大きく広げ、社会に力を添える人材の輩出を狙う本プログラムに、ぜひ奮ってご応募ください。

**【主催】** 一般財団法人教育支援グローバル基金

#### 【プログラムの内容】

1. 奨学金支給：大学・短大・各種専修学校進学のための、年間 50 万円の返済不要・給付型奨学金を支給
2. 人材育成プログラム：国内外でのプログラムを通し、各界で活躍するリーダーとの対話や、困難を経験しながらも社会貢献を志す仲間との対話、社会課題について考える機会の提供を行う。

ビヨンドトゥモロー ジャパン未来スカラシップ・プログラムは、人材育成プログラムと奨学金支給の両方から成る 1 年間の包括的なプログラムです（人材育成プログラムへの参加が不十分の場合は奨学金支給を停止します）。

#### —近年の人材育成プログラム実施実績—

- ・オンラインプログラム（ビデオ通話を介し年に 6～8 回程度開催）
- ・国内研修
  - オリエンテーション・プログラム（毎年 3 月開催 3 泊 4 日・東京）
  - サマープログラム（夏開催 3 泊 4 日・東京、北陸地方、広島など）
  - ジャパン未来リーダーズサミット（秋開催 2 泊 3 日・東京）
- ・海外研修
  - 米国グローバル研修：2024 年 9 月 NY・ワシントン D.C. にて実施予定。2023 年 2 月ハワイにて実施。（2020・2021 年はコロナ禍により中止。）

※各種人材育成プログラムの詳細は当財団のウェブサイトをご覧ください。

※プログラム参加に係る費用は主催者が負担します（遠方からの参加者は交通費を財団規程に基づいて支給）。

※新型コロナウイルスの状況、当財団の財政状況を考慮しながら開催の有無や開催方法を判断しますので、上記のプログラムが例年通り開催できない可能性があります。

**【応募資格】** ※別紙「よくあるご質問（FAQ）」もご覧ください。

下記条件 1～6 を全て満たすこと。

- 1 2025 年 3 月までに高校を卒業、または高等学校卒業程度認定試験に合格する予定であること。
- 2 2025 年 4 月～2026 年 3 月に新たに大学・短大・各種専修学校に進学予定であること。  
※学校教育法に基づいて設置された大学・短大・専修学校が対象となります  
※進学先が通信教育課程の場合は対象外となります。  
※5 年制の高専在籍者は、2025 年 4 月に 4 年生に進級する場合を対象とします。
- 3 下記の一つ以上に該当すること。
  - a 親が死亡している。
  - b ひとり親家庭である（母子家庭、父子家庭など）。
  - c 児童養護施設をはじめとした社会的養護を必要とする施設に暮らしている。
  - d 里親家庭に暮らしている。
  - e 生活保護受給世帯に暮らしている。
- 4 年間を通じて開催されるプログラムに参加する意志があり、プログラム参加に際し健康上の支障がないこと。
- 5 2025 年 3 月に開催するオリエンテーション・プログラムへの参加を確約できること。
- 6 オンラインプログラムに参加するための安定したインターネット環境を自身の責任で準備できること。

※最終合格者には、上記に該当することを証明する公的書類を提出いただきます。書類内容を確認の上、上記条件に合致することが認められない場合には、合格を取り消します。また、合格した場合でも、後日、申告内容に虚偽や事実と異なることが認められた場合には、プログラムから除外となる他、既に支給した奨学金の返金を求めることがあります。

最終合格者が提出を求められる書類（応募時点では提出の必要はありません）

1.	親が死亡している。	戸籍全部事項証明書（戸籍謄本）
2.	ひとり親家庭である（母子家庭、父子家庭など）。	戸籍全部事項証明書（戸籍謄本）
3.	児童養護施設等の社会的養護施設に暮らしている。	施設長の発行する在籍証明書
4.	里親家庭に暮らしている。	里親委託証明書（児童委託証明書）
5.	生活保護受給世帯に暮らしている。	生活保護受給証明書

※「1. 親が死亡」のみ該当する方には、保護者が亡くなっている事実の記載がある戸籍全部事項証明書または除籍全部事項証明書を提出いただきます。

【応募の流れ】 選考は、以下のスケジュールで行います。

2024年9月2日（月）	応募受付開始（Google form 受付開始 9:00～）
2024年10月17日（木）	応募締切（郵送物必着、Google formでの提出は 23:59 まで）
2024年11月5日（火）以降	1次選考合格者への1次合格通知・2次選考面接案内送付（合格者及び合格者の推薦状を記入した学校長宛てに通知します。不合格者には通知をいたしません）
2024年12月7日（土）または8日（日）	2次選考 会場：東京 ※遠方からの受験者には面接会場までの交通費補助を規程に基づき支給します。 ※感染症拡大状況によりオンライン開催に切り替える可能性があります。
2024年12月 下旬	最終合格者発表（2次選考受験者全員に可否を通知します）

※合格者は、2025年3月下旬に開催されるオリエンテーション・プログラムへの参加が義務づけられています。いかなる理由があっても、オリエンテーション・プログラムに参加ができない方は、応募できません。

※プログラム参加に係る費用は主催者が負担します（遠方からの参加者は交通費を財団規程に基づいて支給）。

### 【選考方法】

1次選考：書類審査（課題作文を選考委員が書類審査）

2次選考：東京にて1時間程度のグループ面接（遠方からの受験者には交通費補助を規程に基づき支給。）

※詳細は1次選考合格者に通知します。

### 【応募書類について】

#### 1. 提出書類

(1) 応募用紙

(2) 課題作文

(3) 学校長からの推薦状（フォーマット自由。現在、高校に在籍していない者については、卒業校からの卒業証明書または、高等学校卒業程度認定試験合格証明書を代わりに提出のこと）

（Google formで提出の場合：(1)と(2)に関してはform内直接入力、(3)は郵送、FAX、またはPDFデータをメールのいずれかで提出。）

#### 2. 課題作文について

以下の設問①～③について、記入する際の条件や注意点をよく読み、記入してください。

- |     |   |
|-----|---|
| 設問① | あなたの人生の中で、最もつらかった体験はどのようなものでしたか。また、その体験についてどのようにとらえていますか。                               |
| 設問② | あなたの人生の中で、最も勇気を必要とした「決意」「決断」はどのようなものでしたか。具体的にどのようなことを決め、行動したのか、その時に思ったことや感じたことを記してください。 |
| 設問③ | あなたは将来、どのような道に進みたいですか。その夢の実現のために、ビヨンドトゥモロー ジャパン未来スカラシップ・プログラムはどのように役立つと考えますか。           |

#### <記入する際の条件・注意点>

・800～1600字以内であること（ワード、手書きいずれも可）

・800～1600字の中に、上記の設問①②③全てに対する回答を含めること


（設問1つに対して800～1600字ではありません）。

・（郵送の場合）全てのページに、氏名、学校名、ページ番号をフッター（ページの下）に記載すること。

また、ホチキスどめ、クリップどめしないこと。

### 3. 提出方法・締切

以下のアまたはイのいずれかの方法で提出してください。

ア	<p>Google form を使用して提出（「応募者情報」、「課題作文」を直接入力、「学校長からの推薦状」は郵送、FAX、または PDF データをメールのいずれかで提出。）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Google form: こちらの URL もしくは、右記 QR コードからアクセスしてください。 <a href="https://forms.gle/rSDPep7uJ8cHoCBT8">https://forms.gle/rSDPep7uJ8cHoCBT8</a></li> <li>メール宛先: <a href="mailto:info@beyond-tomorrow.org">info@beyond-tomorrow.org</a></li> </ul> <p>※メールで提出の場合、必ず応募者氏名をメール内に記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>FAX 宛先: 03-6745-9100</li> </ul>	
イ	<p>郵送 別紙「応募用紙」、「課題作文」、「学校長からの推薦状」を送付してください。 郵送の場合の送付先は、以下のとおりです。（下記宛名を切り取って郵送先のラベルとしてご利用いただけます。）</p>	

〒150-8681

東京都渋谷区渋谷 1-12-13 渋谷郵便局留

一般財団法人教育支援グローバル基金

「ジャパン未来スカラシップ・プログラム 2025 係」 行

※郵便局留のため、宅急便では受取ができません。必ず郵便でお送りください。

※応募期間中のみ開設している受付窓口です。受付期間を過ぎた郵送物は 10 日後に返送されます。

※遅配・不達等の郵便事故の責任は負いかねますのでご了承ください。

※局留めの場合は郵送物が紛失する可能性は非常に低いと思われませんが遅配等の郵便事故の責任は負いかねますので、早めの投函をお勧めします。

締切…2024 年 10 月 17 日（木）Google form、メール、FAX→23:59 までに提出、または渋谷郵便局留必着

※提出頂いた情報は、ジャパン未来スカラシップ・プログラム 2025 の選考に使用される他、一般財団法人教育支援グローバル基金から、財団のプログラムに関するご案内、財団の趣旨に合致すると考えられる各種プログラムのご案内のために使用され、それ以外の目的での利用は致しません。

### 4. 課題作文作成のヒント

課題作文の文字数は 800~1600 字となっていますので、スマートフォンなどでグーグルフォームへの直接入力は避け、PC 又はタブレットでワード等を使用し下書きをしてから、グーグルフォームへ入力（下書きを貼り付けなど）することをお勧めします。

## ビヨントゥモローの学生たち

様々なバックグラウンドを持つ学生たちが日本全国から集い、自分の役割を探し続けています。



“一人じゃない、だから頑張れる”

Eさん H大学教育学部 (A高等学校卒業)

父親の暴力により指定難病持ちの母との母子家庭となりました。引っ越しをして友達もいなく、頼れる・相談する人がいない中で母と妹を守るのは自分しかない孤独を感じていた時にジャパン未来リーダーズサミットに参加しました。同じような経験をした仲間集まるからこそ、自分の境遇を全て話すことができ、深く共感してくれる味方ができ、仲間が社会を変えるリーダーとして活動している姿を見て自分も頑張ろうと鼓舞することができました。また、仲間会いたい、切磋琢磨して頑張りたいと考えてジャパン未来スカラシッププログラムに応募。自分の経験を過去で終わらせるのではなく、当事者だからこそその視点に変えることが自分の強みであると考えようになりました。ビヨントゥモローの仲間は自分にとってかけがえのない存在になりました。



“切磋琢磨したりする面白さを感じることができました”

Kさん J大学国際関係学部 (U学院高等学校卒業)

ビヨントゥモローでの1年間の活動はとても充実していました。各プログラムでのディスカッションやゲストスピーカーの方々との対話が特に印象に残っています。また、年間を通して、仲間との対話を通して共に成長していく時間はとても有意義でした。ビヨントゥモローに参加したことで、自分自身と向き合うことの意味を改めて学ぶことができました。ただ自分の欠点を悲観するのではなく、今の自分と目標をどのように繋げるかを学んだり、誰かと一緒に共通のゴールを目指して切磋琢磨したりする面白さを感じることができました。



“将来は舞台俳優として社会課題に関する舞台をやりたい”

Yさん T大学芸術学部 (K高等学校卒業)

私は里親家庭で幼少期から育てており、似た境遇の同世代の方と関わる事がなく、境遇の事で悩み苦しんでいるのは自分だけだと思い、孤独感を感じていました。しかし、ビヨントゥモローでは似た境遇で育った仲間がいるという事を実感でき、皆も未来を向いて頑張っているのだから自分も未来を見て頑張らなきゃいけないと感じ、前を見ることが出来ました。対面プログラムでは、自分のアイデアが提言に活かされ、この境遇だからこそわかる気持ち、立てる視点があることに気づきました。将来は舞台俳優になり、自らの経験を活かせる舞台をすることが夢です。そしてそれによって、私たちの様な社会的養護出身者や似た境遇の者たちが特別視されない社会に少しでも近づける事が出来るようにしたいと思っています。



“「自分を好きになれたこと」、それが僕にとって最大の収穫”

Oさん G大学教育学部 (B高等学校卒業)

父の母親に対する暴力に苦しみ、経済的に楽ではない生活の中で、自分が他の人よりどこか劣っているような感覚がありました。しかし、劣っているという考えは間違いで、むしろ逆境を経験したからこそ、他の人にはないアイデンティティなのだ、ビヨントゥモローに参加して気づきました。その気づきは、自分の大きな原動力になっています。将来は小学校教員となり、学ぶことの面白さを伝えていくとともに、自らの経験を活かし、児童の支えになりたいです。